



菅原 洋一さん(40)
崇子さん(40)
=水沢区川端=

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

水沢区東大通りで、うつわと園芸、喫茶の店として地域に親しまれているマルヨウ。洋一さんと崇子さんの夫妻は、陶房と喫茶を担当しています。ことし9月でオープン1周年を迎えた喫茶マルヨウは、洋一さんの陶器を多くの人に手にしてもらいたいという崇子さんの思いから生まれまじした。開店を決断したきっかけは、結婚記念日に洋一さんから贈られた調理器具。「再燃

した料理熱を夫のために生かしたかった」と崇子さん。ハンドドリッップのコーヒーでお客様をもてなします。水沢出身の洋一さんと埼玉県出身の崇子さん。大学生時代のアルバイトで知り合った二人は、趣味が合ったこともあり、交際を開始。14年前に結婚し、洋一さんが陶芸修行する栃木県益子で6年暮らしした後、水沢に帰ってきました。「手づくりのうつわの良さを知ってもらいたい」と陶房を開いた洋一さん。以来陶芸教室の開催、クラフト市への出展などをしてきましたが、喫茶ができてからは県外からもお客様が来るようになり、より手応えを感じています。二人の今の関心は地域の活性化。「市内に面白い店が続々開店していますよ」と地域の盛り上がりを語ってくれた二人は「幅広く市の支援があるといいですね」と、市への希望も語ってくれました。

夢トーク

将来の夢は「デザイナー」



土谷 有里沙さん
(胆沢区・胆沢愛宕小学校6年)

Interview

—学校での役割は？

保健委員会で副委員長をしています。ハンカチ、ティッシュの携帯と爪切りを呼び掛けたり、全校朝会で保健クイズを出したりしています。

—好きなスポーツは？

バレーボールです。スポーツ少年団の奥州胆沢バレーボールクラブで副キャプテンをしています。スパイクの打ち分けやサーブが得意です。

—好きな教科は？

音楽と図工です。歌やリコーダーの演奏、絵を描くのが得意

だし、好きです。

—中学校へ進学したら、やってみみたいことはありますか？

バレーボール部に入りたいです。中学2年生の姉が、バレーボール部でキャプテンをしています。私も一緒にプレーしたいと思っています。

—将来の夢を教えてください。

デザイナーです。給食センター宛てに感謝の手紙を書いたとき、色使いをほめられたのがうれしくて、デザインに興味を持ちました。皿やコップなどの日用品をデザインしたいです。

青春讃歌

江刺東中学校 野球部



- ◎部員数 18人
- ◎顧問 高橋 康次先生
沼井 透先生
- ◎主将 菊池 優大君(2年)
- ◎部長 江川 寛君(2年)

本年度の地区中総体覇者 大会連覇を狙います！

ことしの胆江地区中総体優勝校にして、県大会3位の江刺東中学校野球部。主力だった3年生8人が引退して、新体制をスタートさせています。

新チームは、2年生5人、1年生5人と少人数ですが、その分、チームワークが自慢です。「練習の準備や片付けに、チーム一丸となって取り組んでいます」とその秘訣を語る江川部長。声掛けにも力を入れており、人数の少ないチームを練習中から盛り上げることを心掛けています。

この夏、チームは新人戦に向け、多くの試合をこなしました。その中で明らかになったのは守備の課題。「経験不足が原因。でも、今は不安はありません」と練習試合の成果に菊池主将は自信を示します。一方、まだ不十分なのはバッティング。強化のため、早朝練

習でティーバッティングをこなすほか、顧問の高橋先生も重点的に指導しています。成果は上がりつつあり、苦手だったエンドランは、今ではチームの得意技です。

高橋先生は、「頭の良い子が多く、経験不足を効率の良い練習で補っている。自慢の生徒です」と、3年生を含めた部員たちに、厚い信頼を寄せました。

9月の新人戦は力及ばず地区3位の結果となりましたが、来年の中総体では活躍が再び期待される江刺東中学校野球部。支えてくれる監督、コーチ、父母会への感謝を胸に、今日も練習に打ち込みます。



練習はいつでも真剣。エンドランを試合で決めるぞ！

おうしゅう 羅針盤



全国JOCジュニア五輪カップ夏季水泳競技大会の男子100バタフライに出場した水沢南中学校1年の今野文翔君と、全国小学生陸上交流大会の女子ソフトボール投げに出場した前沢小学校6年の本城咲良さんがともに自己ベストの記録で優勝しました。おめでとうございます。2020年の東京オリンピック世代の2人です。メダルに向かつての挑戦を心より願っております。

9月10日夜から11日未明にかけて、台風の影響により本市では土砂崩れ、路面損壊、家屋の床下浸水、田畑の冠水などの被害が発生しました。被害に遭われた皆さんには心よりお見舞い申し上げます。日頃の備えや正確な情報発信に努め、災害の被害を最小限にしてまいります。

2014年度の決算です。実質収支が一般会計で4億7218万円の黒字、特別会計9会計で7億4023万円の黒字となりました。財政を圧迫する可能性の度合いを示す将来負担比率は135.6割で、前年度に比べ17.2ポイント改善するなど、財政の健全化を判断する4指標全てが改善しました。人口減少などによる税収減、社会保障費の増加、合併特例措置の終了による地方交付税の段階的削減に対応するためにも、財政力に見合った歳出規模にすることが必要です。行財政改革の確実な推進を図ってまいります。

10月15日から各地区センター30カ所を対象に「将来の市政のあり方広聴会」を開催します。広聴会では地域自治区のほか、28年度の組織再編について説明します。旧市町村の枠組みを優先する形を目指すのか、一つの自治体としての形を目指すのか、広く皆さんの考えをお聞かせください。ぜひご参加いただき、率直なご意見をお聞かせください。

奥州市長 小沢昌記